

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2011年12月20日発行 第104号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P5 ~ P9
事務室からのお知らせ	P10 ~ P13
進路支援からのお知らせ	P14 ~ P16
生徒支援からのお知らせ	P17 ~ P19
保健室からのお知らせ	P18
カウンセリングスペースからのお知らせ	P18
今月の聖句	P20

<同封物>

特別活動のお知らせ「映画とアートを見よう！」(緑) <全員>

進路ニュース(青) <3年次>

「2年次生 進路ガイダンス資料」(冊子) <2年次・卒業予定をしていない3年次生>

「進学教育センター」だより(桃) <全員>

「合成麻薬について」のお知らせ(カラー) <全員>

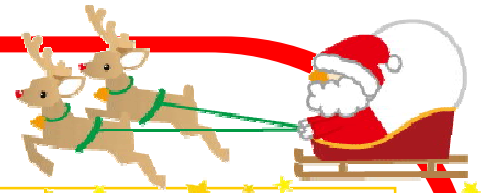
「全国暴力追放運動推進センター」からのお知らせ(カラー) <全員>

レポート提出最終締切日は、1月6日(金)17時
(郵便は当日消印有効)です。

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。
「教員ブログ」を始めています。本校のホームページで見ることができます。



「別世界」に足を踏み入れる

みなさんは「別世界」と聞くと、どんなイメージが湧くでしょうか？ 天国・地獄・竜宮城？ それとも、宇宙空間でしょうか。東日本大震災、原発被災された方々は、一瞬にして、悪い方の「別世界」へ連れ去られたと言えるのではないのでしょうか。

日々、私たちはルーチンワーク(日常的に決まっている作業や業務)や同じコースの通学・通勤をこなしているだけだと、接する人々や風景が代わり映えしないため、「別世界」を求めて、本を読んだり、映画を観たり、旅行をしたりして、新鮮な刺激を受けてリフレッシュしています。

その良い方からの「別世界」から、日常の世界に戻るのは一瞬ですが、残念なことに、悪い方の「別世界」から、日常に戻るには大変な労力と時間が必要となります。

まもなく、クリスマスを迎えます。イエス・キリストが、彼に反対する人たちの策略により、十字架で殺され、3日目によみがえりました。私たちの罪の身代わりとなるために、あえて刑死の道を選び、さらに死で終わらない永遠の命があることを示すために復活されたのです。私たちを救うために来られたイエス・キリストのストーリーは、私たちの価値観を覆す「別世界」です。その「別世界」は、悪い方の「別世界」から、「救う」力があります。

クリスマスを迎えるこの時期、チャンスがあればそのストーリーが記された「聖書」を、読んでみてはどうでしょうか。



本校の卒業要件

- 高校に3年以上在学すること。
- 74単位以上修得すること。
- 必修科目は履修認定を得ること。
- 「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。
- 特別活動に30時間以上参加すること。

(『2011年度版 学務の手引き』より抜粋)

大阪YMCA 年間聖句

「希望をもって喜び、
苦難を耐え忍び、
たゆまず祈りなさい」

ローマの信徒への手紙 12章 12節 (新共同訳)

Raising strong children and building a loving community
OSAKA YMCA Since 1882

2011年6月 - 2012年5月

～ 『東日本大震災を受けて祈りをともに』 ～

2011年3月11日14時46分、東日本大震災が発生いたしました。1995年に発生した阪神淡路大震災に於いて、「経済的な復興」は何年かすれば成し遂げられるでしょうが、「魂の復興」がそこに伴わなければ本当の意味での復興は成し遂げられないことを学びました。

今私たちは、キリスト教学校で学ぶ子どもたちが、5年後、10年後もこの東日本大震災を忘れ去ることなく、さまざまな「復興」、特に「魂の復興」に携わり続けてほしいと願っています。それぞれの学校に集う児童・生徒たちは変わっていったとしても、キリスト教学校全体が、この時期、共に同じ小学校・中学校・高等学校生活を過ごし、声を合わせて共通の思いを祈った体験が、真の「復興」のための力となっていくことを信じ、「共同の祈り」は作成されました。

『共同の祈り』

この世界を造り、わたしたちを守ってくださる神さま。

わたしたちが自然の中で生き、自然と共に生かされていることに感謝します。

東日本大震災によって苦しむ人々のために、あなたからの助けと励ましを与えてください。

そして、わたしたちと自然が共にあなたによって造られたものであることを、忘れることがないようにしてください。

あなたはどのような時にもわたしたちから離れることなく、

喜びや悲しみや苦しみを共にしてくださいませ。

神さま、傷ついている人々のために、行動を起こす決意をわたしたちに与えてください。

神さまがわたしたちに何を望んでおられるのか、日々の学びの中から知ることができますように。

主イエス・キリストのみ名によって。アーメン

キリスト教学校教育同盟と日本カトリック学校連合会が共同してこの祈りを作成しました。

この『共同の祈り』を作成しました「キリスト教学校教育同盟」に、本校は加盟をしています。

スケジュール

日	曜	行事予定など
		12 月
12/21	水	PCルーム開放(13時~15時)
12/22	木	後期通常スクーリング最終日、「学習アシストルーム」最終日 講座「体育b」補充スクーリング(2~5限目)
12/23	金	冬期休暇開始(~1/4)(天皇誕生日)
		2012年 1 月
1/1	日	
2	月	
3	火	
4	水	冬期休暇終了
5	木	レポート再発行締切日(17時まで)
6	金	後期レポート提出最終締切日(事務室17時まで。当日郵便消印有効) PCルーム開放(13時~17時)
7	土	
8	日	
9	月	(成人の日)
10	火	集中講座「産業社会と人間 集中」「初めて知る判士教3」
11	水	集中講座「産業社会と人間 集中」「初めて知る判士教3」
12	木	集中講座「情報A基礎7」「体育c6」(~1/19)
13	金	集中講座「地歴演習c1」 講座「総合的な学習の時間B」受講講座テーマ決定通知&要項他送付予定
14	土	集中講座「ウインタースポーツ1」(~1/16) 大学入試センター試験
15	日	大学入試センター試験
16	月	大学入試センター試験自己採点報告(13時~15時)、進路サポートスペース(10時~13時)
17	火	集中講座「産業社会と人間 集中」「地歴演習c1」
18	水	集中講座「理科基礎6」
19	木	
20	金	1/6以降返却の「再提出」評価レポート提出締切日(17時学校必着のみ) 集中講座「地歴演習c1」、1月集中講座レポート提出最終締切日(17時学校必着のみ) 〔学校通信〕〔単位認定テスト出題範囲の案内〕発送予定 大学入試センター試験ガイダンス(11:30~12:30)
21	土	
22	日	
23	月	集中講座「理科基礎6」
24	火	集中講座「理科基礎6」
25	水	後期〔学習状況報告(最終)〕〔単位認定テスト受験資格確認表〕〔レポート解答例集〕 〔「筆記式」テスト時間割〕発送予定
26	木	
27	金	単位認定「課題式」テスト発送予定(2/13提出締切)
28	土	
29	日	
30	月	講座「総合的な学習の時間B」
31	火	講座「総合的な学習の時間B」
		2 月
2/1	水	講座「総合的な学習の時間B」
2/7	火	単位認定「筆記式」テスト
2/8	水	単位認定「筆記式」テスト
2/9	木	単位認定「筆記式」テスト
2/13	月	単位認定「筆記式」テスト、単位認定「課題式」テスト提出締切日
2/14	火	単位認定「筆記式」テストの追テスト日
2/20	月	〔学校通信〕発送予定
2/23	木	単位認定「筆記式」テストの再テスト日、「再テスト課題」提出締切日
2/25	土	1・2年次生対象「保護者とともに進路を考える会」

冬期休暇中は来校できません。
レポートの学校提出はできません。
12/23~1/4は学校休業日のため、
電話での問合せにもお応えできません。

教務からのお知らせ

【冬期休暇】12月23日（金・祝）～1月4日（水）

冬期休暇中、みなさんは来校できず、事務取扱もいたしません。レポートの窓口提出もできませんのでご注意ください。（次項および[事務室からのお知らせ]（P.10）もご覧ください。）
冬期休暇中、レポートは学校事務室では窓口受付はできません（郵送のみ受付します）。
レポートの提出期限が冬期休暇期間（12/23～1/4）に入っている場合は、郵便のみ受け付け、郵便の消印日が提出日となります。

重要！！

【後期レポートの最終締切日】 1月6日（金）17時（当日郵便消印有効）

後期レポートの最終締切日は1月6日（金）で、学校事務室では17時まで受け付けます。

（1月集中講座は除く）

郵送は、1月6日（金）の郵便消印まで有効です。

1月6日（金）に郵便で送る場合は、必ず郵便局の窓口で送付するようにしてください。

ポストに投函^{とうかん}しても、そのポストの収集時刻が過ぎている場合は当日消印が付きません。
十分注意してください。

郵便以外の、宅配便・メール便などでの送付は、受け付けられません。

レポートは、最終締切日以降は一切受け付けませんので、十分注意してください。

最終締切日に、レポートを白紙、または白紙同然で提出した場合は「不合格」となり、再提出はできません。

レポートやバーコードシールをなくしている場合は、再発行の申込みをしてください。

レポート再発行の申込み受付は、1月5日（木）17時までです。

（12/23（金）～1/4（水）は学校は休みです）

レポート提出については、「事務室からのお知らせ」（P.10）もよく読んでください。

【1/6（金）以降に「再提出」評価で返却されたレポートについて】

返却されたレポートは、「再提出」評価のものがないかどうか必ず確認してください。

最終締切日後（1/6以降）に、「再提出」評価で返却されたレポートは必ず確認し、提出期限までに、再提出してください。

提出期限は、レポート表紙に赤字で記された日時（1/20（金）17時学校必着）までです。

学校の事務室必着（郵便消印ではありません）ですので注意してください。

【PCルームの開放について】

以下の日時にPCルーム（3階307教室）を開放しますので、レポート作成に必要な場合はご利用ください。

12月21日（水）13時～15時

1月6日（金）13時～17時

【スクーリング】

後期の通常スクーリングは12月22日(木)までにすべて終了します。(1月集中講座は除く)
スクーリングは、各講座とも補講はありませんので、十分注意してください。

理科の一部、英語科の一部、芸術科の一部、家庭科の一部、宗教の各講座は、「スクーリング代替課題」があります。出席時数が不足する場合は、「スクーリング代替課題」の提出で出席を補ってください。

(「スクーリング代替課題」は、クリーム色紙に印刷されたポーチ袋に入っています)

「スクーリング代替課題」で補える数は、講座ごとに上限が決まっています。ご注意ください。

スクーリング出席の一部を「スクーリング代替課題」で補う場合は、バーコードシールをレポート用のシールと間違えないよう確認して貼って提出してください。

「代替課題」のシールは、講座名の前に が付いており、講座ごとにレポート用のシールの後に印字されています。

「スクーリング代替課題」の最終締切日も1月6日(金)です。

【「総合的な学習の時間」登録者へ】

校外施設見学の「阿倍野防災センター」「ATCに行こう」「大阪くらしの今昔館」

「国立民族学博物館」を登録している人は、1月6日(金)のレポート最終締切日に間に合うよう、年末年始の休館日のある場合を考慮し、早目に見学に行きレポートを提出してください。

「総合的な学習の時間B」は2012年1月30日(月)31日(火)2月1日(水)に実施します。

「総合的な学習の時間B」の登録者には、12/3に講座テーマの案内と申込書をお送りしています。

受講希望講座テーマの「申込書」を提出していない人は、講座テーマ、日程を確認の上、至急提出してください。

受講希望講座テーマを提出した人には、受講講座テーマ決定通知と講座要項、事前レポートを1月13日(金)頃に郵送いたします。(担当：山野・後藤・石橋・金子)

【高認および「学校外の学修」の単位認定申請】

高認(高等学校卒業程度認定試験)や、英検や漢検などの「学校外の学修」に対する単位認定を希望する人で、2012年3月卒業予定者は、1月13日(金)までに、担任を通して申請書(証明書など添付のこと)を提出してください。

3月卒業予定でない場合は、2月13日(月)までの申請分を今年度後期分として受け付けます。(いずれも単位認定料が必要です。)

【「調査書」「推薦書」の発行について】

大学・短大・専門学校等に出願する際には、高校が発行する「調査書」が必要になります。

「調査書」が必要な人は、各学校の出願に必要な書類および出願期間を確認し、受験予定校の願書・募集要項を持参の上、担任を通して早めに申し込んでください。

(申込みから発行まで1週間かかります)

「推薦書」が必要な場合は、作成に時間がかかる場合でもありますので、早めに担任まで申し込んでください。(申込みから発行まで1週間かかります)

「調査書」「推薦書」の発行については、「進路支援からのお知らせ」(P.15)も読んでください。

重要！！

【単位認定テストについて】

単位認定テストは、すべての講座で実施します。（「総合的な学習の時間」は除く）

単位認定テストを受験し合格することで、単位を認定します。

テスト受験資格

各講座で決められている「スクーリング出席必要時数」と「レポート合格必要数」の両方をクリアすることで、その講座の「テスト受験資格」が認められます。

スクーリングまたはレポートの必要数を満たしていない場合は、受験資格はありません。

各講座のテスト受験資格は、個人別の「単位認定テスト受験資格確認表」でお知らせいたします。

（1/25（水）に送付予定）

テストの出題範囲

テストは、ほぼすべての講座でレポート内容から出題されます。

返却されたレポートは手元に置いて、よく復習をしておいてください。

各講座の「出題範囲一覧」と「レポート解答例」は、1/25（水）に送付する予定です。

テスト実施方法

単位認定テストには、「筆記式テスト」「課題式テスト」「実技式テスト」の3つの方法があります。

各講座は、この3つの方法のいずれかで単位認定テストを実施します。

各講座のテスト実施方法は、次ページの一覧表で確認してください。

筆記式テスト

後期の「筆記式テスト」実施日は、2月7日（火）8日（水）9日（木）13日（月）です。

いまからスケジュールを調整しておいてください。

「筆記式テスト」は、通常のスクーリングの時間割とは違う時間割で実施します。

「筆記式テスト」の時間割は、1月25日（水）に送付する予定です。

課題式テスト

「課題式テスト」実施講座の受験資格を認められた人に、「課題式テスト」を送付します。

みなさんは、自宅で「課題式テスト」に取り組み、締切日までに提出してください。

「課題式テスト」は、受験資格のある人に1月27日（金）頃送付する予定です。

「課題式テスト」の提出締切は、2月13日（月）17時（当日消印有効）です。

締切日までに提出されなかった場合は、単位の修得はできません。

実技式テスト

スクーリング時にすでに実施しています。くわしくは担当教員に確認してください。

2011年度後期 単位認定テスト実施方法一覧

普通科目

教科	講座名	実施方法
国語	国語表現 I	筆記式
	国語総合 a	筆記式
	国語総合 b	筆記式
	現代文 b	筆記式
	古典 b	筆記式
	古文入門	課題式
	国語演習 b	筆記式
	国語演習 s b	筆記式
	地理歴史	世界史 A
世界史 B ㊦		筆記式
日本史 A		筆記式
日本史 B ㊦		筆記式
地理 A		筆記式
地歴演習 c		筆記式
公民	現代社会	筆記式
	倫理	筆記式
	政治・経済	筆記式
	公民演習 a	筆記式
数学	数学基礎	筆記式
	数学 I α ㊤	筆記式
	数学 I α ㊦	筆記式
	数学 I β ㊤	筆記式
	数学 I β ㊦	筆記式
	数学 II b	筆記式
	数学 III ㊦	筆記式
	数学 A	筆記式
	数学 B	筆記式
	数学 C	筆記式
	数学演習 b	筆記式
理科	理科基礎	筆記式
	理科総合 A	筆記式
	理科総合 B	筆記式
保健体育	物理 I	筆記式
	化学 I	筆記式
	生物 I	筆記式
	体育 a	実技式
	体育 b	実技式
	体育 c	実技式
芸術	美術 I	課題式
	書道 I	課題式
	ペン習字	課題式
外国語	オーラル・コミュニケーション I	筆記式
	英語 I α ㊤	筆記式
	英語 I α ㊦	筆記式
	英語 I β	筆記式
	英語 II α ㊤	筆記式
	英語 II α ㊦	筆記式
	英語 II β ㊤	筆記式
	英語 II β ㊦	筆記式
	リーディング	筆記式
	ライティング	筆記式
	英語基礎 I	筆記式
	韓国・朝鮮語入門	筆記式
	中国語入門	筆記式
	英語演習 b	筆記式

教科	講座名	実施方法
家庭	家庭基礎	筆記式
	家庭総合 a	筆記式
	家庭総合 b	筆記式
	調理	筆記式
情報	服飾手芸	実技式
	情報 A 基礎	課題式
宗教	情報 A 応用	課題式
	体感するキリスト教	課題式
	初めて知るキリスト教	課題式
	聖書に親しむ	課題式
総合	現代に生きるキリスト教	課題式
	産業社会と人間	課題式
	産業社会と人間 C	課題式
	課題研究	*
	総合的な学習の時間 A	**
総合的な学習の時間 B	**	

* 「課題研究」は、最終レポートがテストの代わりにになります。
 ** 「総合的な学習の時間 A・B」は、単位認定テストはありません。

総合選択科目・自由選択科目

系列	講座名	実施方法
福祉	社会福祉入門	筆記式
	福祉実習基礎	課題式
	発達と保育	筆記式
	福祉レクリエーション	課題式
	高齢者福祉	筆記式
	障がい者とともに	課題式
多文化共生	ワークショップで学ぶ人権	課題式
	多文化共生考	課題式
	ジェンダー入門	課題式
ウエルネス	レクリエーション	実技式
	アクアティックスポーツ	実技式
	からだづくり運動	実技式
	ウィンタースポーツ	実技式
	ウエルネス概論	課題式
	ヨーガ	課題式
	救急法	実技式
	森林体験	課題式
エコ	地球にやさしい暮らし方	課題式
	文書作成	課題式
情報処理	表計算 I	課題式
	コンピュータ概論	筆記式
	インターネット	課題式
	ホームページ作成	課題式
	情報演習 a	筆記式
	情報演習 b	課題式
	自由	ボランティアを考える
映画で学ぶ世界史		筆記式
国旗をめぐる世界旅		筆記式
服飾文化	筆記式	

【2012年3月卒業予定者へ】

今年度後期に卒業が見込まれる人には、「卒業意思確認書」をお送りし、担任宛に提出していただくよう案内しています。

まだ提出していない人は、至急提出するようにしてください。

高校の卒業要件には、必修科目の履修、74単位以上の修得および30時間以上の特別活動参加などがあります。

これらの1つでも欠けると、すでに就職内定や大学合格していても卒業は認められません。

登録している講座のレポートは、確実に最終締切日(1月6日)までに提出し、合格を得てください。

特別活動の参加時間数が不足している人は、2月中旬までに不足分を補うようにしてください。
(下項参照)

万一、卒業要件に必要な必修講座が履修不認定となったり、修得単位数が不足になった場合は、「卒業意思確認書」を提出済みの方にかぎり、その講座や単位数により「卒業認定の特例」を適用できる場合があります。(『2011年度版学務の手引き』P.12参照)

最後まで自助努力を欠かさず、全力を尽くしてください。

卒業要件等について不明な場合は、担任までお問合せください。

【特別活動について】

本校の卒業要件の一つとして、30時間以上の特別活動への参加が必要です。

『2011年度版学務の手引き』(P.13~P.14)で、特別活動についてもう一度確認してください。個人別の特別活動の参加時間数については、12/16の「学習状況報告」送付時にお知らせしていますのでご確認ください。

大学・短大・専門学校の「オープンキャンパス」に参加し、「参加報告書」を提出して認められれば特別活動として認定されます。(「参加証」など参加を証明するものが必要です)

「参加報告書」は職員室窓口にあります。 (1校につき2時間の認定)

学校が指定する「芸術鑑賞(映画鑑賞[映画館]、ビデオ鑑賞[自宅]、展覧会[美術館・博物館])」をし、「申請書」を提出して認められれば特別活動として認定されます。

「申請書」は、職員室窓口にあります。 (1回につき2時間の認定)

学校指定の芸術鑑賞等については、12月・1月・2月号の「学校通信」でご案内します。

しっかり目を通して、休みの間にぜひ活用してください。

事務室からのお知らせ

【冬期休暇に伴う事務取扱について】

冬期休暇に伴い、事務取扱期間については下記のとおりといたします。

遠隔地への旅行などに必要な学割の申請および通学回数券割引証の申請については、12月20日(火)までに申請のあった分については12月22日(木)までに発行できます。

即日発行はできませんのであらかじめ申し込んでください。

レポートの学校への直接提出についても下記のとおりといたします。

冬期休暇中(12/23(金)～1/4(水))にレポートを提出する場合は郵送で行ってください。

冬期休暇に伴う	年末	2011年12月22日(木)まで
事務取扱期間	年始	2012年1月5日(木)から

12月28日(水)～1月4日(水)までは学校休業日です。学校への電話連絡はできません。

緊急で連絡がある場合のみ留守番電話を使用ください。その際学校からの連絡が必要な場合は、必ず連絡先を録音ください。(連絡できるのは翌日以降です。)

【レポート等の再発行について】

レポート等配布済みの書類を紛失した場合は再発行の手続きができます。所定の用紙に必要事項を記入のうえ、事務室で再発行の手続きを行ってください。

レポートやバーコードシールの再発行は、下記の事項を正確に記入して申し込んでください。

レポートの再発行日は原則として次のスクーリング日(月・水・金)となります。

1月6日(金)のレポート提出最終締切日のレポート再発行については、前日5日(木)17:00までの申込み受付となります。その際は翌6日(金)11:00以降に発行いたします。

手数料

種類	手数料	申込用紙
レポート(再発行)1枚	50円	「レポート等諸用紙発行願」
レポートバーコード 1シート	100円	
レポート提出用封筒(1枚)	10円	
個人別時間割	100円	
通学割引証申請カード・ケース	100円	

* 必要記入事項・・・ 学籍番号・名前 講座名 レポート回数

【各種奨学金について】

現在募集中の奨学金について下記の表に記載していますので、申込期限等を確認のうえ、希望の場合は事務室へお申し出ください。

名 称・内 容・金 額					申込書学校提出締切日		
貸与	日本学生支援機構(旧日本育英会) ・平成24年度大学等奨学生予約採用 (対象) 来年大学・短大・専門学校等に進学した場合の予約奨学金 (貸与月額) 下記表参照				第3回申込期限 (第二種のみ) 1月10日(火) 〔候補者内定3月中旬予定〕 第一種予約奨学金の申込受付は終了しました。		
	区分	第一種奨学金(無利子貸与)				第二種奨学金 (有利子貸与)	
		大学		短大・専修学校			
		自宅	自宅外	自宅		自宅外	
	国公立	45,000円	51,000円	45,000円		51,000円	30,000円・ 50,000円・ 80,000円・ 100,000円・ 120,000円 から選択
私立	54,000円	64,000円	53,000円	60,000円			
上記貸与月額又は貸与月額30,000円のどちらかを選択							
入学時特別増額貸与奨学金(初回基本月額に有利子奨学金を増額して貸与する制度)も同時に申込みが可能です。金額は10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択できます。							

【受験に必要な証明書発行手続きについて】

受験に必要な証明書を必要とする場合は、「証明書発行願(受験用)」に記入して原則として下記の(窓口申込)により申し込んでください。特別な事情がある場合には下記(郵送申込)も受け付けますが、必ず電話でHR担任と確認のうえ行ってください。

電話・FAXやメールでは申込みできません。

証明書発行までに1週間を要します。下記の表を確認のうえ手続きしてください。

窓口申込：受験予定校の願書・募集要項を持参してHR担任と相談、「証明書発行願(受験用)」を記入のうえ担任確認印をもらってから事務室窓口へ手数料を添えて申し込んでください。(生徒証明書の提示が必要)

郵送申込：『2011年度版 学務の手引き』巻末の「証明書発行願(受験用)」をコピーして記入・押印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。(郵便が事務室に届いた日が受付日となります。発行に日時を要しますので、余裕をもって申し込んでください。)

必ず事前に電話でHR担任と確認のうえ行ってください。

手 数 料 発 行 日	種 類	申込用紙	通 常		英文発行	
			手数料	発行日	手数料	発行日
	成績・単位修得(見込) 証明書	証明書発行願 (受験用)	300円	受付から 1週間後	300円	受付から 1週間後
	調査書					
	推薦書		500円	1,000円		

返信郵送料

証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
1～2 通まで	80 円	+ 270 円
3～5 通まで	90 円	
6～10 通まで	140 円	

【住所等変更手続きについて】

現在、学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・捺印のうえ事務室へ提出してください。

あわせて生徒証明書の再発行が必要な場合は、写真を提出してください。

また、通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出ください。

届出用紙は事務室にある他、『2011 年度版 学務の手引き』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

学校からはレポートや成績に関する書類等、重要な郵便物を定期的を送付しています。

住所変更の際は、郵便物が変更前の住所に届いてしまうことがないように、郵便局に「転居届」を提出し、必ず郵便物転送の手続きを行ってください。

【高等学校等就学支援金について（対象者のみ）】

後期の講座登録を行わない場合は、支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいます。

「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きが必要ですので必ず手続きしてください。

年度の途中で婚姻またはその解消により、保護者に変更があった場合は、新たに申請書の提出が必要です。毎月初日の保護者の市町村民税の所得割額が基準となりますので、加算の対象となる場合は、必ずその時点で手続きを行ってください。

今後の加算申請については、提出があった月の翌月から支給対象とすることができます。しかし、学校が定める期限までに提出できなかったやむを得ない理由があると知事が認めた場合は、例外的に支給開始月を遡^{さきゆう}及することができるのとことです。

この場合は、やむを得ない理由を記載した「理由書（学校にあります）」の添付が必要です。

該当する場合は、事務室へお申し出ください。なお、今年度分の手続きについては、2月末までの受付となります。

【平成 23 年度大阪府私立高等学校等授業料支援補助金制度について（対象者のみ）】

今年度の府補助金は、現在大阪府に申請中です。決定次第対象者にお知らせをいたします。

給付については生徒本人の銀行口座に振込みで行いますので、あらかじめ口座をご用意ください。

補助金が決定した場合は、決定通知とともに、銀行口座の届出用紙を送ります。

【大阪府私立高等学校等授業料減免制度について】

大阪府では、大阪府等の私立高等学校に在籍する生徒の学資負担者(大阪府内在住)の方が、経済不況に伴って今年になってから家計が急変したために学費の納入が困難になった場合、生徒の修学を保障するために学校に対し補助金を交付(全額または半額)する制度があります。対象となる要件は下記の いずれかが該当することとなっていますが、それ以外にも細かい条件があります。

申請を希望する場合は事務室へご確認のうえ申請書を請求ください。

(対象となる要件)

経営状況の悪化に伴う会社の倒産・解雇により失職した場合

会社等の経営状況の悪化に伴い収入が前年より著しく減少した場合

【2011 年度後期学費の納入について】

後期の学費について、分割納入及び12月延納の手続きをされている場合は、今月の納入期限が12月26日(月)となっています。

学校より送付しました「延納・分割納入についてのお知らせ」を確認のうえ、期日までに納入手続きをしてください。

進路支援からのお知らせ

【落ち着いて学習をしよう】

冬休みに入りますが、引き続き落ち着いて学習を続けてください。レポートが終わっていない人は、単位修得に向けてレポート作成を最優先させてほしいと思います。何よりも高校生としての基本的な学力を身につけることが大切です。

卒業年次生のうち、これから大学等の一般入試を控えている人は、いよいよ正念場をむかえます。生活のリズムを整え、健康にも注意しながら学習を続けてください。計画通りに学習が進んでいれば何も心配することはありません。あせらず落ち着いて学習を進めてください。また、すでに進路が決まっている人は、卒業にむけてしっかりと高校生活を締めくくってほしいと願っています。

【進路相談 / 面接練習について】

本校では、進路相談につきましては、HR担任と年間を通じて随時^{ずいじ}行っています。ご希望の方はHR担任と面談日時を調整してください。

就職や進学で面接練習が必要な場合も、まずはHR担任と相談してください。なお、面接試験が終わったら「面接試験報告書（進学用）」もしくは「就職受験報告書（就職用）」をHR担任または進路支援担当者に提出してください。

【進路の方向性が定まっていない卒業予定者の皆さんへ】

卒業予定者のうち、まだ進路の方向性が決まらず、どうしたら良いか悩んでいる人もいます。自分が何をしたいか、あるいは何に向いているかわからない、もしくは自信が持てない、あるいはどう動き出したらいいかかわからないなど、一人一人状況は違うと思います。自分ひとりで考えていてもわからない場合、まずはHR担任と相談してみてください。

【3階「進路コーナー」を活用しよう】

進路(進学・就職)に関する情報は3階「進路コーナー」に掲示しています。また「進路コーナー」に置いてある案内書や募集要項は自由に持ち帰ることができますので活用してください。なお、進路に関する情報は、1階職員室カウンターでも見るができます。

進学希望の皆さんへ

【大学入試センター試験を受験するみなさんへ】

1月14日(土)・15日(日)に、大学入試センター試験が実施されます。届けられた受験票を確認し、試験会場の下見をしておいてください。万一、受験票が届いていない場合は、「受験案内」P.28～P.29を見て対応してください。受験されるみなさんの健闘をお祈りしています。

試験当日は、余裕をもって試験会場に行くようにしてください。

試験中に自分の解答を必ず問題用紙に控え、問題用紙を持ち帰るようにしてください。あとで自己採点をする時に必要になります。

【大学入試センター試験が終わったら】

正解および配点が、1月15日(日)および16日(月)の新聞(朝刊)に掲載されます。また、インターネットでも確認できます。各自で自己採点をしてください。

自己採点では各受験科目の得点を算出してください。その際、と、AとB等の区別に注意してください。また、国語は現代文(古文と漢文を除く)のみの得点も必要になります。

【大学入試センター試験自己採点会】

本校は、進学教育センターと協力し、ベネッセのデータネット(自己採点集計会)に参加しています。大学入試センター試験受験者は、下記日時に本校の自己採点会に参加し、自己採点結果および志望校を報告してください。志望校は6校(国公立は4校)まで登録できます。

大学入試センター試験自己採点会

<日時> 1月16日(月)13:00~15:00 <教室> 305教室

<内容> 大学入試センター試験自己採点結果および志望校の報告

【大学入試センター試験ガイダンス(データ説明)】

本校では下記日時に「大学入試センター試験ガイダンス(データ説明)」を実施します。個人成績表(志望校の合格可能性)を配布し、見方を説明しますので、自己採点結果を報告した人は必ず参加してください。ガイダンスに出席できない人は、後日個人成績表を進学教育センター(2F)まで取りに来てください。

私立大学センター利用入試については、ガイダンス終了後すぐに相談対応します。また、国公立大学についての進学相談希望者は、あらかじめ自己採点会の時に日時を予約しておいてください。なお、データネットでは合格可能性別に大学を検索することも可能です。

大学入試センター試験ガイダンス(データ説明)

<日時> 1月20日(金)11:30~12:30 <教室> 301教室

<内容> 国公立大学2次試験・私立大学センター利用入試の出願に向けて

【調査書・推薦書の発行について】

大学・短大・専門学校に出願する際、高校が発行する「調査書」が必要になります。「調査書」が必要な卒業年次生は、1階職員室カウンターで「証明書発行願」を受け取り、必要事項を記入した上で担任に申し出てください。その際、出願先、受験方式は必ず記入するようにしてください。出願先が決まっていない場合、調査書の発行はできません。また、保護者名と押印を忘れないようにしてください。(本人が成人の場合は不要です。)

「調査書」の発行には、申込みから1週間かかります。必要な費用を添えて余裕をもって事務室に申し込んでください。郵送での手続きも可能です。

「推薦書」の発行については、作成に時間がかかる場合もありますので、早めに担任に申し込んでください。本校が「推薦書」を発行する場合、前期末で54単位以上(指定校推薦の場合は60単位以上)修得していることが必要です。

【専願入試で合格した人へ】

「専願」で合格した人は、必ず入学することが条件となっています。辞退することはできませんので、期限までに入学手続きを済ませてください。

【予約奨学金等について】

予約奨学金とは、日本学生支援機構が実施している奨学金の制度で、大学・短大・専門学校等へ進学を希望する卒業年次生が入学前に（高校在学中に）奨学金を予約する制度です。進学先が確定していなくても申込みができます。詳しくは「事務室からのお知らせ」（P.11）をご覧ください。これとは別に、国の教育ローンを利用する方法もあります。問い合わせ先は下記のとおりです。

[教育ローンコールセンター TEL 0570-008656]

【模擬試験の案内（1、2年次生）】

進学を考えている1、2年次生は、落ち着いて学習を続けるとともに模擬試験を受けましょう。次回進研模試（1、2年次生）＜ベネッセ＞は1月21日（土）記述模試です。申込みは2階進学教育センターで行ってください。

【1、2年次生も「オープンキャンパス」に参加しよう】

1、2年次生の進学希望者は「オープンキャンパス（学校見学会）」に積極的に参加し、自分の目で各大学・短大・専門学校の特色を確認しましょう。

「オープンキャンパス」に参加すると特別活動2時間（上限は10時間）が認定されます。1階職員室カウンターで「参加報告書」を受け取り、必要事項を記入して提出してください。その際、当日配布されたプリントや担当者の名刺など、参加の証明になるものを貼ってください。

就職希望の皆さんへ

【学校紹介で就職を希望する卒業年次生へ】

内定まで、ねばり強く就職活動が続けることが大切です。求人票をこまめにチェックして、希望先があればHR担任または就職担当まで申し出てください。なお、12月1日（木）以降、会社が併願を認めている場合は1人2社までの応募が可能になっています。

応募書類（履歴書・調査書・紹介状）は学校から郵送します。応募先が決まった人は調査書を申し込み、履歴書（学校にある指定のもの）を作成してください。

面接が終わったら、すぐ「就職受験報告書（就職用）」をHR担任または就職担当に提出してください。なお、内定した会社は辞退することができませんので、慎重に考えて応募してください。

下記の要領でハローワークの「学生向け職業相談会」が実施されます。就職希望者のうち就職先が決まっていない人はぜひ参加してください。なお、参加希望者は就職担当に申し出てください。

学生向け職業相談会

<日 時> 12月26日（月）もしくは27日（火）のいずれか 14：00～16：00

<場 所> 大阪東公共職業安定所 3階 大会議室

大阪市中央区農人橋2-1-36 TEL 06-6942-4771

<内 容> 求職票記入、求人検索機体験、個別職業相談 など

生徒支援からのお知らせ

冬休み期間中の注意点

【不審者への注意】

まもなく冬休みに入ります。みなさんもいろいろなところへ出かける機会が増えると思います。楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思いますが、一方で最近、テレビ等で悲しい事件の報道が続いています。みなさんもいつどんなところで予期せぬ事件に巻き込まれるかわかりませんので、十分注意してください。特に、携帯電話など個人情報の管理などは慎重に行ってください。

【外出するときは...】

「どこへ 誰と 何時まで」外出するかを保護者の人に必ず連絡しましょう。
それまでに帰れない場合はできるだけ早く保護者の人に連絡を入れましょう。

【不審者に遭遇したら・トラブルに巻き込まれたら...】

落ち着いて行動するように心がけましょう。まずはひと気のある建物・通りがあればそこへ移動しましょう。それができない場合は、はっきりとわからなくても、できるだけ早く110番か、知人などへ電話しましょう。防犯ブザーを携帯することも効果的です。

【違反行為はやめましょう】

休暇中であっても違反行為は学校のルール違反になります。絶対にしないでください。

【スクーリング終了後の学校利用について】

2011年12月23日(金)～2012年1月4日(水)と1月7日(土)～3月末日までの間で、集中講座・テスト・レポート提出や行事などがない日は、生徒の皆さんは学校に通学することはできません。

集中講座は事前の日程表、単位認定テスト、各学校行事などは「学校通信」で確認してください。サークル活動をする人は事前の活動計画に従ってください。証明書発行などで事務室に用事のある人、担任と相談する必要がある人は来校することができます。

担任が不在のこともあるので、必ず事前に電話などで約束をとっておくようにしましょう。

賞罰規定

『学務の手引き P.39』参照

以上の3点を含む「学校生活上の決まり」が遵守できない場合は以下の順に従って、保護者同伴の上での厳重注意や、より強い処分を行います。

すでに注意を受けている人は特に注意してください

担任注意

担任注意

保護者・本人呼び出し

誓約書提出

退学処分

(保護者連絡)

の「担任注意」を受けた人は、その後の宿泊を伴う講座は登録できません。

の「担任注意」(保護者連絡)を受けた人は大学・短大・専門学校の指定校推薦を受けることはできません。

の「誓約書提出」では、本人・保護者を呼び出しのうえ必要な書面に署名をしてもらいます。

【暴追センターからのパンフレットについて】

警察庁・全国暴力追放運動推進センターからのパンフレットを同封しています。
困ったことがあれば、パンフレット最終ページの相談電話で相談しましょう。

保健室からのお知らせ

* 法律で禁止されている薬物・ドラッグについて

ニュース番組などで一度は聞いたことがあるとは思いますが、絶対に知っておいて欲しいことです。
もう一度、確認してください。

薬物とは？

- ・持っているだけでも犯罪。
- ・一回の乱用で死に至ることもある。
- ・乱用すると、身体（細胞や骨など）と精神が壊されていく。
- ・依存性が強く、意志があってもやめられなくなる。

薬物乱用とは？

- ・医薬品を本来の目的から逸脱した用法や容量、あるいは目的のもとに使用すること。
- ・医療目的にない薬物を不正に使用すること。

日本の薬物に関する法律

- ・大麻取締法
- ・毒物および劇物取締法
- ・覚せい剤取締法
- ・麻薬および向精神薬取締法

今回同封したプリントの他に、保健室にも簡単な冊子を置いてありますのでご覧ください。

カウンセリングスペースからのお知らせ

カウンセリング

後期通常スクーリング中の開室は12月21日（水）までです。

単位認定試験期間中は、2月8（水）、13日（月）に開室します。

* 開室時間と担当者

月曜日：石井邦也さん 13：30 ～ 16：30

水曜日：川口彰範さん 13：30 ～ 16：30

金曜日：道嶋公子さん 13：30 ～ 16：30

水曜日の午前中（10：00 ～ 12：30）も、予約すれば利用できます。

保護者の方もご利用いただけます。お問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。



進路サポートスペース

『進路サポートスペース (S S S)』が5月よりスタートしています。

就職、進学に関わらず自分の将来のことについて何でもいいので「おしゃべり」できるところです。

最近、進路サポートスペースを利用してくれる方が増えてきました。

興味のある人は気楽な気持ちで来てください。(予約制)

働くことに関する悩みや迷いのある人、自分らしい「生き方」や「働き方」探しを応援しています。

*1月の開室日時と担当者

対 象 生徒・保護者・卒業生

実施日時・担当

10月より「進路サポートスペース」は、第1、第3月曜日の月2回実施しています。

期日 1月16日(月) 1月はこの日のみの実施となります。

時間 10時~13時

担当 林田 明子さん(大阪府若者サポートステーションカウンセラー)

場 所 本校カウンセリングスペース(2階)

* 1人50分(予約制)

* 予約は、金子・大谷までご連絡ください。



今月の聖句



「主しゅにおいて常つねに喜よろこびなさい。あなたがたの広ひろい心こころが
すべての人ひとに知しられるようになさい。主しゅはすぐ近ちかくに
おられます。」

(フィリ°の信徒しんとへの手紙てがみ 4 章しょう 4 節せつ. 5 節せつ)

「広い心がすべての人に知られるようになさい」と教えられています。

今年の12月8日は日米開戦70周年にあたります。この日、日本の真珠湾攻撃をもって日米は悲惨ひさんな戦争に突入しました。この戦争の傷跡きずあとは今も残っています。70年前、賀川豊彦かがわとよひこ師とスタンレー・ジョーンズ師は、太平洋の両岸で一週間の断食祈禱だんじききとうをして、日米が戦争に至らないように民間外交をつく尽くしたと伝えられています。ここにキリスト信仰に生きる者たちに与えられた「広い心」を垣間見る思いがします。

賀川とスタンレー、日米両者の民間外交による努力や断食祈禱が如何に感動的な行為であっても、実を結ばなかったことはなんと空しいことかと吐き捨てるように言う人もあるかもしれません。しかしどういう結果が現あらわれるにせよ、主である神はあらゆる経過を活用して、イエス・キリストを通じての救いの御業みわざを完成なさろうとしておられるに違いありません。

我々が直面する現実げんじつは喜ぶことばかりではない。はげしく抵抗したくなることも避けられないでしょう。しかし、広い心を人に知られるようにするのを優先することが大切です。



(日本キリスト教団 中谷哲造牧師より)

南YMCA「キリスト教」委員会